

会 議 録

日 時	平成 24 年 12 月 17 日 (月) 午前 9 時 30 分～午前 10 時 30 分
場 所	本庁舎 2 階 第 1 会議室
会議名	第 3 回大垣市新庁舎建設市民懇話会
内 容	1 市民アンケート調査の報告について 2 先進地に学ぶ新庁舎について 3 大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告書 (案) について 4 その他
出席者 (敬称略)	(委員)【計 10 名】 杉戸真太、竹内治彦、國枝義見、竹中昌子、堤 俊彦、長瀬ちえ子、牧野英紀、松本正平、大澤智恵子、小林志壽子 (市)【計 4 名】 川合幸典 (総務部長)、野崎重光 (契約課長)、安田佳樹 (主幹)、小川健志 (主査)
欠席者	(委員)【計 1 名】 北野茂樹
傍聴者	1 名
事務局	皆さん、こんにちは。 定刻となりましたので、ただいまから大垣市新庁舎建設市民懇話会の第 3 回会議を開催いたします。 本日は大変お忙しい中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。 早速でございますが、竹内会長により司会進行をよろしくお願いします。
会長	はじめに、本日は、北野委員さんが所用により欠席されております。 それでは次第に沿って進めさせていただきます。 本日の傍聴についてですが、本日、傍聴を希望される方で、現在、受付を済まされてみえる方、郭町の■■■さんがいらっしゃいますので、ここで会場にお入りいただきます。 それでは次第に沿って進めさせていただきます。 本日の議題は市民アンケート調査について事務局より説明、前回の会議でご要望がありました先進地事例の紹介をしていただいた後、アンケート結果や先進地事例を踏まえて、「新庁舎に求める機能」について協議、最後に、当懇話会における最終報告書 (案) について皆さんへ提案していきたいと思っております。 では、市民アンケート調査について、事務局より説明をお願いします。

事務局

「市民アンケート調査」について、ご説明申し上げます。

今回、多くの市民の皆様のご意見、多様化する市民ニーズに答えるべく、「新庁舎建設市民アンケート調査」を実施しました。

[2ページ](#)をご覧くださいと存じます。

アンケート調査は、10月1日より1カ月間、市内在住20歳以上の2,000人の方を無作為に抽出、郵送にて行った結果、953人の回答があり回収率は47.7%でございました。

[3ページ](#)をご覧ください。

質問1から[5ページ](#)の質問6までは属性で、回答者953人の性別、年齢、居住地などがございます。

[6ページ](#)をご覧ください。

ここからがアンケートの具体的な内容となります。

まず、質問7「来庁経験」でございますが、今までに一度でも市役所に訪れたことがある方が91.4%、一度もない方が6.7%で上石津、墨俣地区の方の割合が高い結果となっております。

[7ページ](#)をお願いいたします。

質問8「1年間の訪問回数」でございます。1回以上市役所を訪れた方は、4人に3人の75.8%で、そのうち2～3回が最も多く29.8%でした。

続きまして[8ページ](#) 質問9「交通手段」ですが、自動車が78.8%と最も多いことが伺えます。

年代別にみてもすべての年代において高くなってはおりますが、70歳以上の方については、他の年代と比べると自転車、路線バスの割合が高くなっていることが伺えます。

続きまして[9ページ](#)をご覧ください。

質問10「来庁用件」でございますが、1番多いのが「戸籍、住民票、印鑑証明等のこと」で61.0%、次いで医療、年金、税金、福祉、子育ての順で、窓口業務に関する用件が8割を占める結果となっております。

また、この主な用件を年齢別にみたものが、[10ページ](#)上段のグラフで、子育てでは30、40歳代、60歳以上になると、医療、国民年金、福祉のことが主な用件になる結果が出ております。

さらに、下段のグラフが来庁回数別で、1回の方は「戸籍、住民票、印鑑証明等のこと」が多く、来庁回数が増えるにつれ医療、年金、子育ての割合が高くなり、4回以上の方は福祉、自治会、仕事といった用件で来庁される割合が高くなってまいります。

続きまして[11ページ](#)をお願いいたします。

質問11では、「今の市役所の問題点」をお聞きしました。

訪れられた半数以上の56.9%の方が「駐車場、駐輪場が足りない」と感じておられ、次いで「担当部署や出入口が分かりにくい」、「相談できるスペースが足りないし、プライバシーが守られていない」の順となっています。

次に[12ページ](#)、質問12「現庁舎の課題」をご覧ください。

「分散化」が34.7%と最も高く、「耐震性」「スペース不足」「防災拠点」など、各課題で200人を超えていることから、概ね4人に1人は課題として認識されていることが伺えます。

続きまして[13ページ](#)質問13をお願いいたします。

庁舎建設で一番の関心事と思われる「新庁舎で重要なこと」の上位3つをお聞きしました。

「窓口での手続きが速く簡単にできる」が53.8%で最も多く、次いで「駐車台数が多い」、「高齢者や障がい者の方など皆さんが安心して快適に利用できる」、「災害対策本部機能が発揮できる」「公共交通機関や他の公共施設が近い」の順となっており、利便性の高い誰もが安心して利用でき、災害に強い市役所が重要視されていることが伺えます。

また、この新庁舎で重要とされた主なものを年齢別に見たものが[14ページ](#)上段の表、地区別にみたものが下段の表となっております。

続いて[15ページ](#)質問14をご覧ください。

新庁舎に併設するとよい機能は、待ち時間を過ごす喫茶コーナー、お子さんのキッズスペース、ギャラリースペースなどとなっています。

続きまして質問15でございますが、新庁舎に期待するご意見を自由記述にてお願いいたしました一部を抜粋したものでございます。

多数ご意見をいただいておりますので、グループ化し、その中の一部を掲載させていただいておりますが、職員に対する叱咤激励、庁舎建設への考え方や思い、新庁舎への期待や希望など、回収件数のうち、実に324件、34.0%の方がこの質問にお答えいただきました。

今回、新庁舎建設市民アンケートを実施し、改めて新庁舎建設に対する関心の高さや市役所の重要性を再認識するとともに、市民の皆様お一人おひとりの貴重なご意見、ご要望を頂戴させていただいた結果でございます。

以上、「市民アンケート調査」についてご説明をさせていただきました。

会長

ありがとうございました。

ただいま、市民アンケート調査について説明がありましたが、何か質問がある方はお願いいたします。

副会長	<p>P12、質問 12 についてですが、防災拠点としての機能が不足しているとあります。防災拠点というのは具体的にどういった機能を想定しているのか曖昧な部分がありますので、問 15 の自由記述欄で具体的な機能などを記載してある意見はありましたか。</p> <p>また、アンケートを作った方はどういった趣旨をもって、この選択肢を作ったのか教えてください。</p>
事務局	<p>東日本大震災を受けて、市庁舎の防災拠点機能という意識が大変強くなっていると感じています。</p> <p>また、先進地においては、電話などの機器を備えた災害対策室を設置していますが、本市では前回、見学していただいたとおり、4階大会議室において災害対策本部を設置しています。しかし、この会議室は、災害対策の専用室ではなく、突然の災害発生時には対応が遅れてしまう可能性もあります。</p> <p>委員ご指摘のとおり、防災拠点としての機能ということで具体的な記載はしませんでした。市といたしましては、そういった趣旨を含めて質問を設定しており、アンケートにご回答いただいた方からは、質問 15 の自由記述欄において、災害時に駐車場で炊き出しをできるスペースを確保してもらいたい、災害時用の備蓄を配備してもらいたい、建物の災害対策機能をしっかり考えてもらいたいという意見がございました。</p>
副会長	<p>炊き出しについては、駐車場の車をどければ可能だと思いますが、防災用備蓄については、庁舎にどの程度を用意しておけばよいのか、難しい点もあります。</p> <p>自由記述欄において、市民の方々が具体的にどんな機能を求めているのか記載してあれば有効な意見だと思いましたのでお伺いしました。</p>
会長	<p>防災拠点機能についてはアンケート結果からみても非常に関心の高い内容であると思います。</p> <p>では、今、説明がありました市民アンケート調査も参考にして後ほど新庁舎に求める機能について協議していきたいと思います。</p> <p>次に議題2「先進地に学ぶ新庁舎について」ですが、次回、先進地視察の予定になっていますが、最近の先進事例や視察先を選択した理由などについて事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>先進地に学ぶ新庁舎についてご説明させていただきます。</p> <p>18ページ、資料No.2をご覧ください。</p>

近年、近隣で新庁舎を建設しております先進地は、刈谷市、小牧市、みよし市、犬山市の4市がございます。

人口は、刈谷、小牧市が本市と同じく15万人程度、みよし市が6万人、犬山市が8万人弱でございます。

建設場所はいずれも旧庁舎が建っていた敷地内で、構造は、鉄骨、鉄筋コンクリート、免震構造となっております。

敷地面積、延床面積、階数は、各市の規模によって異なります。

建築面積、これは、建物が建設されている面積であり、建物を上から見たときのフロア面積とお考えいただき、特に1階の窓口関連のフロア面積で参考になるかと思えます。

駐車台数は、200台前後となっております。

[19ページ](#)をご覧ください。

各市の特徴が記載されておりますが、こちらの資料と別に別添資料として各新庁舎のパンフレット資料をお配りさせていただいておりますので、そちらもご参照いただき、実際の写真で説明して参りたいと思えます。

まず、刈谷市をご覧ください。～刈谷市の写真をスライドで映写～

続きまして小牧市です。～小牧市の写真をスライドで映写～

続きましてみよし市です。～みよし市の写真をスライドで映写～

最後に犬山市です。～犬山市の写真をスライドで映写～

再び[19ページ](#)の特徴をご覧ください。

まず、各市共通ですが、災害に強い免震構造を採用してみえます。

また、犬山市やみよし市では、災害時の飲料水などを確保。

次に、わかりやすい1階・2階に窓口部門を集中しています。さらに、人にやさしいということで、授乳室やキッズコーナーは各市設置してみえます。

特に刈谷市では食堂の隣に会議等に参加されるお母さん方のためにカンガールームを設けてあります。

さらに環境で、省エネ対策として、雨水の散水利用、井戸水のトイレ利用、太陽光発電、LED照明、壁面緑化などです。

特に変わったところでいえば、小牧市では日差しを遮蔽するグリーンルーバー、内側にもう一枚ガラスを設け、空気の流れを調整するダブルスキンなどを採用してみえます。

また、街との調和では、小牧市が外観や1階窓口レイアウトが小牧山との調和を表しているなど工夫を凝らしてみえます。

以上、「先進地に学ぶ新庁舎」についてご説明をさせていただきました。

会長

ありがとうございました。

	<p>ただいま、最近、建設されました市庁舎の事例についてご説明いただきました。</p> <p>人口規模から考えますと刈谷市と小牧市が大垣市に類似していると思いますが、小牧市においては分庁舎方式をとっているということで、刈谷市の視察をするということですが、何かご質問があればよろしくお願いします。</p>
委員	<p>アンケートにも、なるべくコストをかけないようにと意見がありました。建設費用として、小牧市が大体 50 億、犬山市が 37 億円とありますが、刈谷市、みよし市はどれぐらいかかっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>建築費用のまとめ方については、建築主体工事や外構工事以外に引っ越し費用や備品購入費など含まれている市もあれば、そうではない市もあり、表現がいろいろ違いますので、細かく調査をしていく必要がありますが、いずれも敷地内で建設されておりますので、用地費は含まず、庁舎本体の建設費用として、刈谷市が 78 億円、みよし市が 23 億円程度です。</p>
委員	<p>他市では防災対策課というのがありましたが、大垣市にはありますか。</p>
事務局	<p>大垣市で言いますと、生活安全課が該当します。</p>
委員	<p>防災対策課というのは普段、こういった仕事をしているのですか。</p>
事務局	<p>生活安全課では、災害時以外、公共駐車場管理や交通対策といった地域安全、防災計画策定といった地域防災などの仕事があります。もちろん、有事の際には、生活安全課が災害対策本部の設置を担当することになります。</p>
委員	<p>災害時以外の仕事も普段やられているということですね。</p>
会長	<p>暴風警報などがあれば、すぐ連絡などが来ますので、常時そういった仕事をやられていると思います。</p> <p>他にご質問あればお願いします。</p>
各委員	<p>特になし</p>
会長	<p>それでは、説明してもらいました市民アンケートと先進地事例を踏まえて、新庁舎に求</p>

める機能について協議していきたいと思います。

前回までの結果として、最終、市長へ提出する報告書について、私と事務局とでたたき台を作りましたので、説明したいと思います。

P20、資料No.3に報告書（案）を添付しておりますが、まず「はじめに」ということで、本懇話会の開催経緯や、協議内容といった概要が記載してあります。

次に「現庁舎の問題点」ということで、あまり詳細にわたってまで書かないスタイルで作ってありますが、防災機能が弱いことや施設の狭隘化、プライバシーが完全に保護できていない、一般の方々にも開放できるような多目的な利用ができないといったことを記載しました。

次に「新庁舎に求める機能」ということで、安全性について、これは、防災機能の強化に加えて、個人情報の保護や情報漏洩防止といったセキュリティも含めた安全性について記載しました。利便性については、ユニバーサルデザインを基本とすることが記載してあり、効率性については、情報化時代に対応した建物とすること、その他として他市においてもコミュニティスペースが設置されており、アンケートではなるべくコストをかけないようにとありましたが、建設経費について冗費を排除しながら市のシンボリックな機能を持たせることなどを記載しました。

次に「おわりに」ということで、今後についてですが、本庁舎は、耐震診断結果において耐震性が非常に低い状況で防災拠点どころか、この建物が先に被災してしまうような状況にあること、そして、他事例をみても建設協議に7～8年程度の時間がかかっていることを踏まえ、築48年が経過している今、鉄筋コンクリート造の一般的な使用期間を50～60年程度とすると、時間的な猶予はなく、着実に計画的な新庁舎建設推進を進めていてもらいたいということを記載しました。

そのあとは、検討経過として会議開催日程や議題、最後に添付資料として、懇話会設置要綱名簿、会議録をつけて報告書（案）としてまとめてあります。

これは今までの協議結果として作っておりますので、今後の皆さんの意見については付加させていこうと考えております。

この報告書について、ご意見がある方はよろしくお願いします。

委員

前回会議で小牧市と西尾市が先進事例ですよと教えてもらいましたので、先週、拝見してきました。

夫と一緒にいき、一般市民の目線も加えて訪庁してきましたが、フロアレイアウトやサインがわかりやすいということが第一印象でした。大垣市はどこへ行けばいいのかわからないぐらいゴチャゴチャしていますが、両市とも、部署の設置が島のタイプになっており、窓口が非常にわかりやすかったと感じました。

	<p>本日、パンフレットを拝見させていただきましたが、実際、目で見るとは非常に重要で、刈谷市の視察についても色々と思うことはあります。</p> <p>特に、両市ともメンテナンスがしやすいような構造になっていると感じましたので、この報告書にも“長寿命化を目指した建物”という意味合いを加えてもらえたらと思います。</p> <p>一方、両市ともあっさりしすぎていて現大垣市のように、ロビーの大理石前で写真を撮影するような場所はありませんでした。やはり、城下町であり、奥の細道結びの地でもある大垣市ですので、シンボルとなるような要素を持たせてもらいたいと感じました。</p>
会長	<p>利便性とシンボリック機能については、報告書で触れておりますが、長寿命化という言葉はありませんので、建物を建設する以上、当然、配慮する内容ですが、文言として記載できるかどうか検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>新しく建設するということで、いろいろな可能性があると思います。最近では市役所に行くことなく用事がすむような取り組みが見られるようになってきた中、窓口サービスが本庁に集約することだけではなく、各地域に出ていくといったような考え方はあれば、追記してもよいかと思います。</p>
会長	<p>市民アンケートでも、各サービスセンターがあるので、わざわざ市役所までいかなくても、用事が済んでしまうようなことも書いてありました。</p> <p>出先を充実すれば本庁舎にお金をかけなくてもよいという考え方もありますが、その方向性についてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>国や全国で、住民票などのコンビニ交付といったことを取り組むなど、いろいろな方向性が検討されています。</p> <p>もちろん、その時々で事情は異なってきますので、その時代の環境を見極めながら庁舎建設計画を進めてまいりたいと思います。</p>
委員	<p>それは法整備が進まないといけない内容ですか、現状でもできる内容ですか。</p>
事務局	<p>法整備がないとできないわけではありません。確かに、上石津や墨俣の方々のアンケート結果では、地域事務所で用事がすんでしまうので、本庁舎へ行く必要がありませんという意見もありました。駅前や市内サービスセンターも含めると、どうしても本庁舎へ来なければいけない証明などは少ないと思います。そこに加えて、全国的な動きとし</p>



	<p>てコンビニ交付が始まっており、大垣市においても実施に向けて内部検討している状況であります。</p>
<p>会長</p>	<p>簡単な証明発行については地域に分散化していく傾向は必ずあると思います。本庁舎に求められるのは、相談といったコンサルティングが必要になるような、例えば、福祉などの相談に必要なスペースになってくると思います。</p> <p>防災機能にかかる部分ですが、現在、専用室ではない大会議室で災害対策本部を設置していること、防災無線室などが手狭な状況であるということ、また、上石津、墨俣といったように地域的に距離がある大垣市において、災害時における通信網などをしっかりしておいたほうがよいといった内容でまとめてありますが、その他、ご意見はありませんでしょうか。</p>
<p>副会長</p>	<p>最終的には予算に左右されてしまう部分があると思います。本日の午後、刈谷市役所へ行きますが、刈谷市は交付税不交付団体で非常に裕福な市です。大垣市はそこまで裕福ではないと思いますが、可能な限り財源を有効に活用して、他市に負けない設備にしてみたいと思います。</p> <p>海溝型地震というのは、本当にいつ来てもおかしくないし、間違いなく来る状況で、特に大垣市は養老断層もあります。</p> <p>刈谷市も大垣市以上に海溝型断層に近いわけで、更に、高浜断層という大きな断層もあります。</p> <p>活断層による直下型地震は非常に発生確率が低いともいわれますが、最近になって、大きな地震に誘発されるというようなことも言われておりますので、愛知県内においては、ほとんどの市町で対策を行っています。</p> <p>この懇話会では予算や建設場所を議論する場所ではないことはわかっていますが、間違いなく来る地震に対して、予算はかかるとは思いますが、最低限の市行政機能をキープできるような建物にしてみたいと強く思います。</p> <p>何十億もかけなくとも設備を整える方法もあるわけですし、ハード面だけではなく、ソフト的にも対策はできるわけで、他の最先端の事例を取り入れて検討してみたいと思います。</p> <p>市役所だけが残っても周囲が被災しては意味がないというような意見がでると思いますが、災害対策の本部となる市役所、特に、そこに関わる職員の方々が、きちっと働ける環境にあることが一番大事だと思います。いろいろな批判があるかもしれませんが、きちっとした市役所を作ってもらいたいと思います。</p>

会長	<p>他事例を見ますと、立派な免震構造になっており、そういった建物は安心感があるように感じました。</p>
委員	<p>その他、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>職員の方々が効率よく働く環境を整備することで、よりよい市民サービスが提供されると思いますので、職員さんにとって働きやすい環境という意味合いを追記してはいかがでしょうか。</p>
会長	<p>先進事例を見ていますと、明らかに手狭な庁舎であることはわかりますし、新庁舎が建設されれば、かなりの職場改善になることは確実ですが、職員の働きやすさという面も追記していくよう検討したいと思います。</p>
委員	<p>各種団体の代表者が集まっているわけで、我々にはそれなりの建設場所に関する私案をもっており、その意見を出させてもらえるような場があってもいいなと思います。</p> <p>我々の団体としても各地域に災害時には避難できるような施設でもある地区センターを整備してもらい防災面においても充実していただいていますので、今後は、災害対策本部からスムーズに情報伝達などが出来るシステムを整備してもらえることを願っています。</p> <p>建設場所を決定してから7～8年かかるということであれば、建物的にもそんなに時間がありませんし、基本構想や基本計画などを策定していくと時間的な猶予があまりないということですが、建設場所や建設年度の目途はどの程度を考えているのですか。</p> <p>私案ですが、せっかく奥の細道結びの地記念館ができたわけですから、大垣城からの中間地点という意味もありますし、水門川の水が水の都大垣のイメージにもつながると思いますので、なるべく現庁舎敷地にて建替えるようによく検討してもらいたいと思います。</p>
事務局	<p>建設場所については、いろいろな制約などがありますので、条件を整理したうえで、内部で検討しております。また、建物については、今後、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計策定を実施していきますので、建設場所が決定してから7～8年ぐらいを見込んでおります。とにかく場所を早く決める必要がありますので、内部にて様々な角度から協議をしていますのでご了承いただきたいと思います。</p>
会長	<p>他にご意見いかがでしょうか。</p>

各委員	特になし。
会長	最後の「おわりに」についてですが、「建物の一般的な使用年数から新庁舎建設までには時間的猶予はなく、今後も市民からの意見を反映集約しながら、着実に計画的な新庁舎建設推進を切に期待する。」といった内容を記載していますが、文言等、これでよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
会長	では、次回の視察について、事務局より連絡事項をお願いします。
事務局	<事務局より、行程、集合時間、集合場所等を連絡>
会長	それでは、次回、刈谷市に視察することとして、本日、いただいたご意見については、よく検討したうえで追記していきたいと思います。 以上で、第3回目の会議を終了したいと思います。皆様、ありがとうございました。